

交渉速報

J R 貨物労組中央本部業務部

2023年 3月 17日

No.14

2023 JR 総連春闘 妥結!! ベースアップ 平均1,000円実施!!

《申第9号 妥結内容》

- ベースアップ 定額700円+基本給の0.1%=平均1,000円(100円未満切り上げ)
- 「基準額」「最低額」および「年齢保障給」をベアに準じて改定
- シニア社員のベースアップ一律1,000円を実施
- 契約社員は1.58%(定期昇給分)+0.35%(ベースアップ分)=1.93%の昇給を実施

《申第10号 諸要求については以下の項目の前進を確認》

- カフェテリアポイント(5,000ポイント)の使用制限を解除とする
- 保存休暇の積立限度日数を50日から60日とする

～2023 JR 総連春闘交渉 最終報告～

中央本部は第3回交渉以降、断続的に労使協議を行ない、本日18時45分から最終交渉に臨みました。席上会社は、①定期昇給を実施すると共に、ベースアップとして定額700円と2023年7月1日現在(昇給前)の基本給に0.1%(平均300円)を乗じた額(合計平均1,000円)を実施する。②昇給額表に記載されている昇給額については、評価に応じて完全実施していく。③職群別基本給表の「基準額」「最低額」「年齢保障給」について、ベースアップに準じて改定する。④シニア社員及び契約社員の賃金を改定すると回答しました。

また、諸要求については、①カフェテリアポイントで健康福祉ポイントに使用制限がかかっている5,000ポイントについて、使用制限の解除。②保存休暇の積立限度日数を10日増加し60日とすることを明らかにしました。

会社の回答に対して中央本部は、①要員問題は職種を問わず深刻となっている。会社が責任を持って適正な人員配置を行なうこと。②職場はいまだに国鉄の設備が多く、社宅も老朽化しており、更新が必要である。計画的な設備投資について前広に議論すること。③人事制度及び評価制度の改善を求める声が多くある。引き続き労使で真摯な議論をしていくこと。④労災や事象の発生が続いており、ソフト対策だけでなくハード対策もしっかり実施するべきである。⑤SDGsやグリーン社会の実現、2024年問題などの期待に応えられるJR貨物グループの経営基盤の確立が必要である。経営の責任において収入計画の達成を確実に進めていくことを求めました。会社は「貴組合の主張はしっかり受け止め、今後も真摯に議論していく」と回答したことを確認し、中央本部はこれ以上の前進はないと判断し、今春闘を妥結することとしました。

2月15日に新賃金および諸要求を申し入れて以降、額によるベアの獲得にこだわり各級機関において様々な闘いをつくり出し、組織が一体となって闘いを推し進めてきました。その結果、昇給額表に応じた昇給の実施と、会社の率回答という頑なな姿勢を崩し、「額」と「率」の併用によるベースアップの実現、さらに多くの組合員からの要求である諸要求の前進を勝ち取ることができました。

職場の課題はまだ山積しています。今春闘の闘いをしっかりと総括し、更なる組織の強化にむけて各級機関が一丸となって闘いを推し進めて行こうではありませんか！中央本部はその最先頭で闘うことを明らかにして、2023 JR 総連春闘交渉の最終報告とします。

以上